



2025年3月26日

各 位

会 社 名 株式会社牧野フライス製作所
代表者名 取締役社長 宮崎 正太郎
(コード番号 6135 東証プライム)
問合せ先 専務取締役管理本部長 永野 敏之
(TEL : 046-284-1439)

ものづくり産業労働組合 JAM からの声明の受領について

当社がニデック株式会社（以下「ニデック」といいます。）から 2024 年 12 月 27 日付けで受領した、当社をニデックの完全子会社とすることを目的とした当社株式に対する公開買付けの提案（以下「本提案」といいます。）に関し、2025 年 3 月 24 日、当社は、ものづくり産業労働組合 JAM（以下「JAM」といいます。）から、添付の「ニデック株式会社による株式会社牧野フライス製作所株式公開買付けに対する JAM 声明」（以下「本 JAM 声明」といいます。）と題する書面を受領しました。

本 JAM 声明をはじめとして、当社は、JAM 及び当社の労働組合（以下「当社労組」といいます。）に対して、本提案に関連して何らの要請や働きかけも行っていない一方、当社労組からは、本 JAM 声明と同趣旨（本提案に反対する旨）の連絡を受けております。

当社取締役会としては、従前より繰り返し公表しておりますとおり、経済産業省の「企業買収における行動指針」に則り、特別委員会の助言・答申を最大限尊重しつつ、本提案が当社の企業価値の向上及び株主共同の利益の向上に繋がるかの精査を進めると共に、並行して、当社経営陣及び当社取締役が関与していない複数の独立した第三者からも法的拘束力のある最終的な意向表明書（以下「第三者提案」といいます。）を受領した上で、最終的に、当社の株主の皆様にとって最良の結果を実現できるよう、最大限の努力を尽くして参る所存であり、それに当たって、当社従業員とも、引き続き、密にコミュニケーションを取って参ります。

本提案又は第三者提案への対応について、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上



ニデック株式会社による株式会社牧野フライス製作所

株式公開買付けに対する J A M 声明

2024 年 12 月 27 日に通告された、ニデック株式会社による「株式会社牧野フライス製作所に対する公開買付け」（以下本件という）に対し産業別労働組合 J A M（以下 J A M という）は下記の通り声明を行う。

本件は事前に一切の協議がなく一方的に行われており、本件通知以降「J A M マキノ労働組合」に所属する組合員及びその家族は、ニデック株式会社の姿勢に強い不信感を持っている。

また、ニデック株式会社は工作機械業界の買収を加速させているが、そのビジョンが不明瞭であり、「買収」そのものが目的化していると考ええる。

工作機械は「マザーマシン」と言われ、すべてのものづくりの原点となっている。その工作機械業界を「株主至上主義」の考えで席卷するならば、業界そのものが衰退し、ひいては日本の国益を損なうこととなる。

このことから、「株主至上主義」から「ステークホルダー資本主義」への考えに改めなければならない。

本件は、企業基盤を支えるマキノ労働組合における組合員の『92.1%』が反対しており、これを強行する事は、いかにも「資金さえあればすべて意のままにできる」といった重要なステークホルダーである従業員を無視した行いと言わざるを得ない。

また、ニデック株式会社に買収された J A M 所属労働組合の中には、従来の労使関係を毀損され、安定的な労使関係を構築できなくなった労働組合も存在する。

以上のことから、J A M は労働者の雇用維持及び、組織の存続発展の観点から、本件に対し強く反対する。

2025 年 3 月 18 日
ものづくり産業労働組合 J A M
会 長 安河内 賢弘

